

KAMINE PARK

かみね公園の概要

日立市

日立市の概要

日立市は、茨城県の北東部に位置し、東は太平洋に面して風光明媚な海岸線を有し、西には阿武隈山地の支脈である多賀山地が連なり、温暖な気候と海・山の豊かな自然環境に恵まれ、東京圏から150kmにある茨城県北部の中核都市です。

市内中心部には、(株)日立製作所を始めとする多くの工場群が広がる国内有数の工業都市として発展してきました。



人口
168,877人
(R5.4.1現在)

アクセス
東京駅から約90分
(JR常磐線特急ひたち利用)
三郷ICから約80分
(常磐自動車道利用)

観光客数
約90万人
(R3)

特徴
6つの海水浴場
(南北33kmの海岸線)
ウミウの捕獲場
(全国唯一)

地名は、水戸黄門として有名な水戸藩二代藩主の徳川光圀公がこの地を訪れ、海から昇る朝日の美しさに「日の立ち昇るところ領内一」と称えたという故事に由来すると言われています。
明治時代に日立鉱山の開発が始まり、その後、同鉱山の電気機械の修理工場が(株)日立製作所として独立し、その発展とともに人口の増加、産業の集積が進みました。

市内の地域資源や観光資源



朝日が差し込む、世界一美しい駅のひとつ『日立駅』



33年連続宿泊利用率No1の国民宿舎鶴の岬



ものづくりのまちの原点である大煙突（当時世界一の高さ）



33kmの海岸線にある伊師浜海水浴場



かみね公園とともに日本のさくら名所100選に選ばれた平和通り



日本夜景遺産に認定されたかみね公園からの夜景

かみね公園の概要

市 街地が続くなだらかな丘陵地に、動物園やレジャーランド、音楽記念館など様々な施設が立地する総合公園です。

頂上の展望台からは、海や山、工都の市街地を360度見渡せる本市きってのビュースポットになっています。

平日は市民にとっての憩いの場であり、休日は県内外の子どもから大人まで一日中遊べる観光施設です。

位置

日立市宮田町
(市街化調整区域)

年間入園者数

約60万人
(R4来園者数)

規模

約20ヘクタール
(うち都市公園は16ha)

駐車場

800台 (無料)

アクセス

日立駅から約10分
(バス: かみね公園口下車)

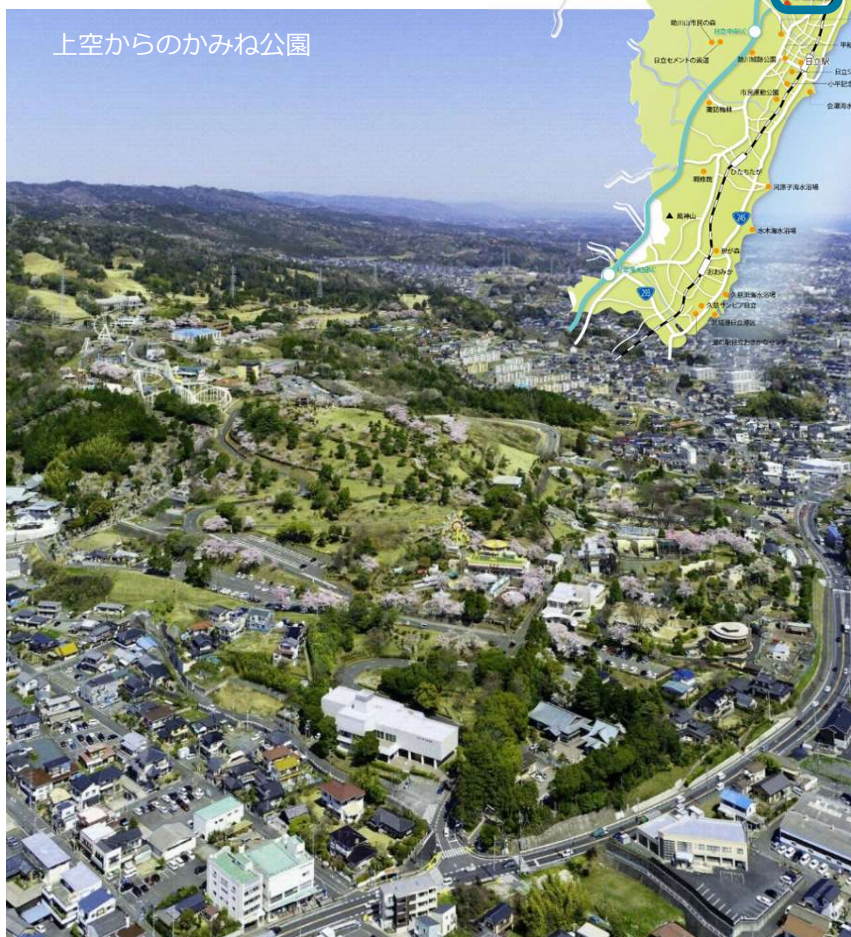
日立中央ICから約3分
(県道36号▶国道6号経由)

特徴

県内唯一の動物園
日本のさくら名所100選
(平和通りと合わせて)
日本夜景遺産
(公園頂上から眺め)
日本最古の地層



上空からのかみね公園



ホリゾンかみね

お風呂やサウナ、レストランもある健康施設。疲れた身体をリフレッシュ。

市民プール

近くの清掃センターの熱エネルギーを利用した、一年中利用できる温水プール。

吉田正音楽記念館

『いつでも夢を』などの作品で夢と希望を与えた、昭和歌謡界を代表する作曲家、吉田正（日立市出身）の記念館。

動物園

県内唯一の動物園。コンセプトは『楽しく入って、学んで出られる動物園』で、生態がわかるように、様々な展示の工夫がなされ、間近で動物たちを観察できる。ジャイアントパンダが来るかも？

レジャーランド

公園最上部にあり、大観覧車やジェットコースターから眺める山や海、市街地、大煙突などの景色が圧巻。子どもは楽しく、大人は懐かしい気持ちにどっぷり浸れます。

遊園地

動物園に併設し、入園無料で入れる、小さい子ども向けの遊園地。

郷土博物館

郷土に関わる考古・歴史・民族資料や美術資料を保存、展示する市民の教養と憩いの場。



園内の風景



遊びながら学べる動物園



桜が舞う動物園



地形をいかしたスリル満点のジェットコースター



姉妹都市の方角を指さすバルカン像



シンボルである大煙突が見守る



素晴らしい景色と爽やかな風を感じられるデートスポット



日立市民の憩いの場



普段の姿と違う夜の動物園



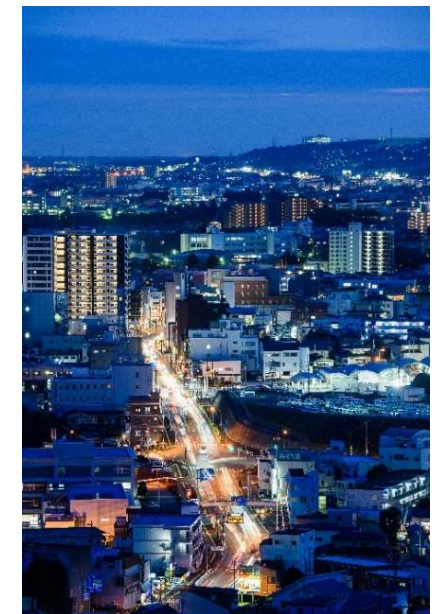
安らぎとくつろぎを感じる芝生広場



桜色に染まった丘の上の公園



懐かしの曲に出会える場所



絶景夜景の穴場スポット